いじめに対する基本認識

いじめは、受けた生徒の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な危険を生じさせる恐れがある。
小野中学校では、教育活動全体を通じて、思いやりのある集団づくりを行い、全ての生徒に「いじめは決して許されない」との理解を促し、お互いの人格を尊重し、心の通う人間関係の構築に努める。そして全ての生徒がいじめを行わず、かつ、いじめを認識しながらこれを放置することがないように、生徒の理解を深め、いじめの防止等の対策を行う。その対策では、いじめを受けた生徒の生命・心身を保護することを優先し、学校、家庭、地域社会、その他の関係者の連携のもと、いじめを克服することを目指す。

教育計画との関連

いじめ防止対策委員会

生き生きと夢の実現に挑戦する生徒の育成

- いじめ防止の重要性を全教職員で認識し、校長のリーダーシップの下、全教職員が協力した指導体制を確立する。
- 「松山市いじめ対応アクションプラン改訂版」等を活用し、校内研修の充実及び実践的指導力の向上を図る。
- 「生徒が自分の大切さとともに、他の人の大切さを認める」ことができ、それが具体的に行動に現れるようにする。

＜知＞真剣に学ぶ生徒	＜徳＞違いを認め合う生徒	＜体＞自律的に活動する生徒
<ul style="list-style-type: none"> 「主体的、対話的、表現する力」を高める 確かな学力の定着 体験活動を取り入れたキャリア教育の推進 家庭学習の充実と読書習慣の確立 	<ul style="list-style-type: none"> 「思いやり、関わり合い」を大切に 道徳教育、人権・同和教育の充実 主体的に実践する生徒会活動の活性化 いじめ・不登校の防止と早期発見・対応 	<ul style="list-style-type: none"> 「心と体」を成長させる 健康安全に関する指導 お互いが高め合う集団 ロープのいのちをつなぐ 持続可能なまちづくりの推進と地域貢献

校長	教頭	保護者	スクールカウンセラー
生徒指導主事	学年主任	+	学校関係者評価委員
教務主任	関係教員		小野交番連絡協議会

家庭に求めること	地域に求めること
<ul style="list-style-type: none"> 子どもとの対話を大切に、関わり合って子育てをしていきましょう。 自発的・自律的に行動を選択・実行し、責任を取る経験の積み重ねを大切にしましょう。 子どもを褒め、励まし、自信を付けさせましょう。 「子どもの様子が変だ」と思ったら、学校に相談し、協力して同一歩調で取り組みましょう。 けがや金品等の被害にあったら、学校(975-0988)や松山南署(958-0110)の関係機関に相談しましょう。 我が子が「いじめる側(加害者)」にならないように、話をして聞かせましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の大人が協力合って、小野の子どもたちを育てていきましょう。 子どもたちは「小野の宝」です。地域の子どものよさや可能性を見つけて、褒めたり、励ましたりしましょう。 いじめや嫌がっている子どもがいたら、声を掛け、注意をして、保護者や学校に連絡しましょう。

いじめの予防と早期発見

A~Oの項目を定期的にチェックする

月	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	A
	朝指導・登下校指導	安全点検日	教育相談(保護者)教育相談	学校関係者評価委員会	学校関係者評価委員会	スクールカウンセラー	小野交番連絡協議会	生徒指導主事連絡協議会	巡回活動	非行防止主講演文	支部懇談会	情報発信	生徒集会	あいさつ運動	ボランティア活動	教員が、通学路を歩き、点検と登校状況を把握し、朝の活動を見届ける。適時に登下校指導を行う。
4	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	B
5	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	C
6	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	D
7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	E
8	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	F
9	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	G
10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	H
11	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	I
12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	J
1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	K
2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	L
3	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	M
																N
																O

いじめに対する対応

- 即動
その場でその行為を制止する。生徒や保護者からの訴えに真摯に耳を傾ける。
- 組織的な対応
「学年部→生徒指導主事→教頭→校長」の報告を速やかに行い、組織で対応できる体制を整える。
- 生徒の声
「被害者・加害者・観衆・傍観者」の声を聴き、保護者との連携を図る。被害生徒の心に寄り添った支援を継続的に行う。
- あらゆる調査 ⇒ 教育相談へ
普段から生徒理解に努めるとともに、アンケート調査や聞き取りを行い、教育相談を行う。
- 集団への働き掛け
いじめは絶対に許されない行為であり、根絶するという支持的風土を確立する。
- ネットいじめ
関係諸機関と保護者に依頼し、削除を要請する。書き込みなどのネットマナーについて啓発する。

重大事態への措置

- 重大事態への対処
教育委員会に報告の上、学校に調査組織を設け、当該生徒及び保護者に情報を提供する。
- 加害者への指導及び保護者への啓発
いじめの状況に応じて教育委員会と連携の上、特別の指導(出席停止を含め)を行う。
- 警察との連携
いじめが犯罪行為として取り扱われるべきであると判断したときは、松山南警察署と連携して対処する。

外部専門家

松山市教育委員会
松山市教育支援センター
松山南警察署
県福祉総合支援センター
医療機関 法務局 弁護士等